

作成日：2025/ 4/ 1
改訂日：2025/10/16

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称、品番 : 補修液、QPE86DB

供給者の会社名称 : パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

住所 : 大阪府門真市大字門真 1048 番地

電話番号 : 06-6900-1084 (建築システム事業部)

項目 2 以降については別添参照

安全データシート
[混合物用(塗料用)]

整理番号 1269433700000-2025-1

1. 製品及び 会社情報	会社名	サンユーペイント株式会社			
	住所	〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原2-4-48			
	担当部門	技術部	作成者	竹位 和久	
	電話番号	06-6392-0151	FAX番号	06-6395-1171	
	緊急連絡先	技術部	電話番号	06-6392-0151	
			作成・改定	2025年10月16日	
	製品名	QPE86補修液 DB			
	製品説明	種類：顔料系着色剤 推奨用途：木工用 使用上の制限：推奨用途以外には使用しないでください			
2. 危険有害性 の要約	GHS分類				
	引火性液体	: 区分2	皮膚腐食性/刺激性	: 区分2	
	急性毒性	経口 : 区分5	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分2	
		経皮 : 区分に該当しない	呼吸器感受性	: 分類できない	
		吸入(気体) : 区分に該当しない	皮膚感受性	: 分類できない	
		吸入(蒸気) : 区分4	生殖細胞変異原性	: 分類できない	
		吸入(粉塵/ミスト) : 区分に該当しない	発がん性	: 区分2	
			生殖毒性	: 区分2	
		特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分2 (腎臓)、区分3 (気道刺激性、麻酔作用)		
		特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1 (中枢神経系、呼吸器)		
	誤えん有害性	: 区分に該当しない	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分3	
			水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない	
	GHSラベル要素				
					
	注意喚起語	: 危険			
	危険有害性の要約 * 非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。 * 飲み込むと急性の有害のおそれがある。 * 吸入すると急性の有害性がある。 * 有機溶剤中毒を起こす恐れがある。 * 皮膚を刺激する恐れがある。 * 重篤な眼への刺激 * 発がんのおそれの疑いがある。 * 生殖能または胎児への悪影響のおそれがある。 * 臓器(腎臓)の障害のおそれ * 長期または反復暴露による臓器(神経系)の障害 * 水生生物に有害である。				
	注意書き 安全対策 ・使用前に特別な使用説明書を入手すること。 ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・容器を密栓しておくこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙 ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。 ・保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。 ・換気のよい区域のみで使用すること。 ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 ・取り扱い後はよく手を洗うこと。				
	救急処置 ・火災の場合には、指定の消化剤を使用すること。 ・飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。口をすすぐこと。 ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。 その後も洗浄を続けること。 ・目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当を受けること。 ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 ・皮膚(又は毛髪)に付着した場合、直ちに、全ての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。 ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。				

	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。 ・暴露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。 ・気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。 ・漏出した場合：漏出物を回収すること。 <p>保管</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。 <p>廃棄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 																																				
3. 組成及び成分情報	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)</th> </tr> <tr> <th>成分名</th> <th>CAS No.</th> <th>重量 (%)</th> <th>PRTR情報 管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メチルイソブチルケトン</td> <td>108-10-1</td> <td>28.8</td> <td>1種指定 737</td> </tr> <tr> <td>酢酸ブチル</td> <td>123-86-4</td> <td>35~40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カーボンテトラフルオライド</td> <td>1333-86-4</td> <td>0.1~1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二酸化チタン</td> <td>13463-67-7</td> <td>1~5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>酢酸エチル</td> <td>141-78-6</td> <td>1~5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>メチルエチルケトン</td> <td>78-93-3</td> <td>15~20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロジン</td> <td>8050-09-7</td> <td>1~5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)				成分名	CAS No.	重量 (%)	PRTR情報 管理番号	メチルイソブチルケトン	108-10-1	28.8	1種指定 737	酢酸ブチル	123-86-4	35~40		カーボンテトラフルオライド	1333-86-4	0.1~1		二酸化チタン	13463-67-7	1~5		酢酸エチル	141-78-6	1~5		メチルエチルケトン	78-93-3	15~20		ロジン	8050-09-7	1~5	
成分及び含有量 (危険有害性物質を対象)																																					
成分名	CAS No.	重量 (%)	PRTR情報 管理番号																																		
メチルイソブチルケトン	108-10-1	28.8	1種指定 737																																		
酢酸ブチル	123-86-4	35~40																																			
カーボンテトラフルオライド	1333-86-4	0.1~1																																			
二酸化チタン	13463-67-7	1~5																																			
酢酸エチル	141-78-6	1~5																																			
メチルエチルケトン	78-93-3	15~20																																			
ロジン	8050-09-7	1~5																																			
4. 応急処置	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>目に入った場合</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> * 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 次>Contact レンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 * 直ちに、医師に連絡すること。 </td> </tr> <tr> <td>皮膚に付着した場合</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> * 付着物を布にて素早く拭き取る。 * 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと * 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。 * 汚染された衣類を取り除くこと。 </td> </tr> <tr> <td>吸入した場合</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> * 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。 </td> </tr> <tr> <td>飲み込んだ場合</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> * 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 * 嘔吐物は飲み込ませないこと。 * 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。 </td> </tr> <tr> <td>措置した者の保護</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> * 適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。 </td> </tr> </tbody> </table>	目に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> * 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 次>Contact レンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 * 直ちに、医師に連絡すること。 	皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> * 付着物を布にて素早く拭き取る。 * 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと * 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。 * 汚染された衣類を取り除くこと。 	吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> * 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。 	飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> * 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 * 嘔吐物は飲み込ませないこと。 * 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。 	措置した者の保護	<ul style="list-style-type: none"> * 適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。 																										
目に入った場合	<ul style="list-style-type: none"> * 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。 次>Contact レンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 * 直ちに、医師に連絡すること。 																																				
皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none"> * 付着物を布にて素早く拭き取る。 * 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと * 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。 * 汚染された衣類を取り除くこと。 																																				
吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> * 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。 嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受けること。 																																				
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> * 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 * 嘔吐物は飲み込ませないこと。 * 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。 																																				
措置した者の保護	<ul style="list-style-type: none"> * 適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。 																																				
5. 火災時の措置	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>使用可能 消火剤</td> <td>水 [×] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 []</td> </tr> <tr> <td>消火方法</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> * 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。 * 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 * 指定の消化剤を使用すること。 * 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。 * 消化活動は風上より行う。 * 水(棒状水、高圧水)を消火に用いてはならない。 </td> </tr> </tbody> </table>	使用可能 消火剤	水 [×] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 []	消火方法	<ul style="list-style-type: none"> * 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。 * 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 * 指定の消化剤を使用すること。 * 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。 * 消化活動は風上より行う。 * 水(棒状水、高圧水)を消火に用いてはならない。 																																
使用可能 消火剤	水 [×] 炭酸ガス [○] 泡 [○] 粉末 [○] 乾燥砂 []																																				
消火方法	<ul style="list-style-type: none"> * 適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。 * 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。 * 指定の消化剤を使用すること。 * 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。 * 消化活動は風上より行う。 * 水(棒状水、高圧水)を消火に用いてはならない。 																																				
6. 漏出時の措置	<ul style="list-style-type: none"> * 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 * 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 * 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をすること。 * 付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。 * 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。 * 衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。 * 乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で困って流出を防止する。 * 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。 * 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。 																																				

10.安定性及び反応性		<p>接触により危険性のある物質 * 特に無い。</p> <p>燃焼等による危険有害性ガスの発生 * CO、低分子モノマー等の有害ガスを発生する恐れがある。</p> <p>その他の反応性情報 * 通常の条件では安定である。</p>
その他の危険性情報		* 仕様に記載された塗料、希釈剤、添加剤以外の物との混合を避ける。
11.有害性情報	<p>(1) メルイソ[®]フルケソ</p> <p>急性毒性(経口) : 区分に該当しない 急性毒性(経皮) : 区分に該当しない 急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない 急性毒性(吸入:蒸気) : 区分3 急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) : 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B 呼吸器感作性 : 分類できない 皮膚感作性 : 分類できない 生殖細胞変異原性 : 分類できない 発がん性 : 区分1B 生殖毒性 : 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性、麻酔作用) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 (中枢神経系) 誤えん有害性 : 分類できない</p> <p>(2) 酢酸[®]フル</p> <p>急性毒性(経口) : 区分に該当しない 急性毒性(経皮) : 区分に該当しない 急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない 急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) : 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B 呼吸器感作性 : 分類できない 皮膚感作性 : 分類できない 生殖細胞変異原性 : 分類できない 発がん性 : 分類できない 生殖毒性 : 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性、麻酔作用) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない 誤えん有害性 : 分類できない</p> <p>(3) カーボ[®]ソフ[®]ラック</p> <p>急性毒性(経口) : 区分に該当しない 急性毒性(経皮) : 分類できない 急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない 急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) : 分類できない 皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない 呼吸器感作性 : 分類できない 皮膚感作性 : 分類できない 生殖細胞変異原性 : 分類できない 発がん性 : 区分2 生殖毒性 : 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 (呼吸器) 誤えん有害性 : 分類できない</p>	

(4) 二酸化チタン

急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 (呼吸器)
誤えん有害性 : 分類できない

(5) 酢酸エチル

急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気) : 区分4
急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2B
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 区分に該当しない
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない

(6) メルカプトン

急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気) : 区分4
急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2 (腎臓), 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 (神経系)
誤えん有害性 : 分類できない

(7) ロジン

急性毒性(経口) : 区分に該当しない
急性毒性(経皮) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:気体) : 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵/ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性/刺激性 : 区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
呼吸器感作性 : 区分1A
皮膚感作性 : 区分1A
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
誤えん有害性 : 分類できない

組成物質に関するその他の有害情報
特に無し。

製品に関する有害情報
製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報	物質名	水生環境有害性 短期(急性)	水生環境有害性 長期(慢性)	オゾン層への有害性
	メチルイソブチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
	酢酸ブチル	区分3	区分に該当しない	分類できない
	カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	分類できない
	二酸化チタン	区分に該当しない	区分4	分類できない
	酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
	メチルエチルケトン ロジン	区分に該当しない 区分2	区分に該当しない 区分2	分類できない 分類できない
<p>残留性/分解性 * 混合物としてのデータがない。 生物蓄積性 * 混合物としてのデータがない。 土壌中の移動度 * 混合物としてのデータがない。 有害性情報は化学物質固有のデータであり、含有濃度によって変化するものではありません。 * 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。 * 特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。</p>				
13. 廃棄上の注意	<p>* 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。 * 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 * 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。 * 「毒物および劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って処理をする。 * 廃塗料などを焼却処理をする場合には、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。 または焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。ただし、ダイオキシンなどの有害ガスが発生する恐れがある場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び処理すること。 * 特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。 * 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。</p>			
14. 輸送上の注意	<p>* 取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。 * 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。荷送り人は運送者に運搬注意書(イエローカード等)を交付する。 * 海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従うこと。 * 航空輸送: 航空法に定めるところに従うこと。 * 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。 * 国連番号: 1263 * 国連輸送名: 塗料又は塗料関連物質(シンナーを含む) * 国連分類: 3(引火性液体類) * 容器等級: II * 指針番号: 128</p>			
15. 適用法令	<p>* 労働安全衛生法 危険物 : 引火性のもの * 労働安全衛生法 有機則 : 特別有機溶剤等 * 労働安全衛生法 特定化学物質(対象物質) : メチルイソブチルケトン * 化学物質管理促進法 : 第1種指定化学物質含有 * 悪臭防止法 (対象物質) : メチルイソブチルケトン、酢酸エチル * 消防法 危険物 : 第4類第1石油類(非水溶性) * PRTR情報(種別・管理番号)は2023年度分からの改訂PRTR法に対応。</p>			
16. その他の情報	<p>主な参考文献 * (一社)日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)] * (一社)日本塗料工業会 SDS用化学物質 データベース(塗料用) * 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) 公表データ * 原料メーカー安全データシート等 * この安全データシートはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。</p>			
注 意	<p>* 記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等などの情報提供であり、いかなる保障をなすものではありません。 * 新しい知見や安全情報が判明した場合は、予告なく変更する場合があります。 * 注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施してください。 * すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。 * ご使用各位において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。</p>			